

日本脊椎脊髄病学会 平成 26 年度第 1 回安全医療推進委員会 議事録

日時：平成 26 年 7 月 17 日(木) 午後 5:30-7:00

会場：リーガロイヤルホテル大阪 6 階 扇の間

出席者：井口哲弘(理事)，根尾昌志(委員長)，今城靖明，尾形直則，小澤浩司，田口敏彦，村上英樹

欠席者：大谷晃司，宮腰尚久

議事録

報告事項

1. 今城委員より 2011 年に行った全国手術合併症調査結果報告として，JSR4 巻 9 号に掲載された内容の説明があった。

審議事項

1. 今城委員より現在 JOS で revise 中の、2011 年全国手術合併調査と過去 2 回の全国調査との比較をした論文について査読者の意見の紹介とその回答案について説明があった。検討を行い回答案について了承した。
2. 今後の調査の進め方
 - 1) 委員長から前委員会からの引き継ぎ事項として，世界に先駆けて急速に高齢化が進行する社会における脊椎脊髄手術の問題点について，Spine に投稿する方針が示され，全員が賛同した。
 - 2) すでにある程度解析の進んでいる腰部脊柱管狭窄症(LSS)について今城委員から説明があり，内容について議論した。各委員は次回委員会までに解析の仕方(切り口)について，さらに提言があれば，今城委員までメールで送ることに決定した。
 - 3) 当委員会の任期中には症例数の多い LSS に加え，神経根症(CSR)も含めた頸椎症性脊髄症(CSM)の手術解析を行い投稿する事に決定した。主担当は業者との交渉の困難性から，引き続き今城委員が当たることになった。次回の委員会までに本日の指摘をもとに，さらに LSS の解析を進めること，次回には CSM の症例数など荒データを示してもらう事になった。
3. 手術調査以外の委員会活動
 - 1) 委員長が，新たに発足した倫理委員会の任務の一つが，新技術に伴う問題点を扱うことを報告した。今後，当委員会や技術認定委員会が協力して，学会による技術コントロールを図っていく理事会の方向性について説明した。
 - 2) 手術調査以外の活動について議論した。担当理事よりこれ以外の委員会活動については H25 年度の第 1 回会議でも議論され，「医療安全に関する患者向けパンフレット作成」や「インフォームドコンセントのモデル作り」などの意見が出たことが紹介された。今後

さらに議論していくことになった。

その他

1. 次回委員会予定：平成 26 年 10 月に基礎学術集会(鹿児島)に合わせて開催する。